

総合学科だより

夏のオープンキャンパス！



七月二十六日(火)に益田清風高校のオープンキャンパスが開催されました。当日は、中学生や保護者の方を前に、総合学科生徒が、パワーポイントを使いながら各系列の説明をしました。真剣なまなざしで話を聞く中学生を前に、最初は緊張した面持ちで言語・文化系列、観光産業系列、健康福祉系列それぞれの学びの体験を語る高校生でした。当日は、生徒の作品も展示しましたが、地域での体験的な活動の雰囲気伝わっていただければ嬉しく思います。高校には、それぞれの得意なフィールドがあります。受験進学や農業、工業などの技術を身に着ける学校。その中で、**益田清風高校は地域での活動をフィールドに地域の課題を解決できる人材の育成を目指します。**

課題研究

一年生の「産業社会と人間」では、夏休みに課題研究ということで、それぞれの興味・関心に応じてさまざまなプログラムのなかから体験的な活動を実施します。中には、一人で複数のプログラムに挑戦する生徒もいて、地域での活動への関心の高さがうかがえました。

★課題研究内容

- ①星城大学ワークショップ
- ②上級学校オープンキャンパス
- ③ライセンスアカデミー進路ガイダンス
- ③介護施設でのボランティア
- ④湯屋小学校ピカピカ大作戦
- ⑤ど真ん中祭りボランティア
- ⑥みなみこども園デイキャンプ
- ⑦ふくしまキッズ in 下呂)
- ⑧馬瀬鮎祭り
- ⑨小坂 200 滝キッズプログラム
- ⑩林業現場見学会
- ⑪下呂市スタンプラリー
- ⑫萩原町商工会青年部との座談会

※下記でプログラムの様子を紹介！！

星城大学ワークショップ

益田清風高校は、愛知県東海市にある星城大学と高大連携を結んでいます。今回は本校と星城大学、そして下呂市と連携をして馬瀬の活性化を目的としたワークショップに参加しました。「馬瀬交ゼミーティング」と題して、大学生と地域の方々と一緒に馬瀬地区でフィールドワークし、ファシリテーターの原絹代先生を司会に、それぞれが意見を出し合いました。今後も継続する予定で、この夏は二回実施しました。高校生の意見が少しずつ実現していく喜びと今後の取り組みの期待感が高まる内容でした。



アイスブレイクで交流開始



鶏ちゃんで昼食タイム



活発な意見交流と発表

小坂二〇〇滝キッズプログラム



小坂二〇〇滝が主催するキッズプログラムに参加しました。都会からやってきた子供たちと川遊びをしたり、自然観察をしながら、下呂を存分に楽しみ、自然を大切にすることを育んでいきます。子どもたち以上に楽しみながら、下呂の自然の素晴らしさを実感しました。

萩原町商工会青年部との座談会



地元を若者の力で活性化させようと萩原町商工会青年部の方々が高校生との座談会を計画してくれました！地元の魅力や一度都会に出たからUターンした経緯など、実際に経験したことを生の声で高校生にぶつけていただきました。参加した生徒も普段では口にしない本音を述べるなど、とても濃い内容の座談会となりました。

天領朝市



今年も天領朝市に参加しています！地元野菜や金山のこんにやく、下呂の朴葉みそなど地域の特産品を販売しています。袋詰め作業から実際の販売まで、生徒が自分たちで行います。常連さんもできて、生徒も元気に頑張っています！

萩原夏祭り



八月七日(日)の萩原町夏祭りに、清風ストリートと題して、子供たちの楽しむことのできるイベント広場を企画しました。当日はステージ司会も担当しましたが、あいにくの豪雨により途中での撤収となりました。またの機会を楽しみにしています！

ジェラート販売！



総合学科とビジネス会計科の生徒が栽培したトウモロコシがジェラートになりました！地元ブルーベリーのジェラートともに、八月二十一日の下呂市青年会議所岐阜ブロック大会で販売をしました。おかげさまで完売となり、苦労して栽培した思いが笑顔で実を結びました！

鳥羽高校交流



昨年度から始まった鳥羽高校との交流事業。冬には下呂で雪上アクティビティを行いました。この夏は、**鳥羽の海を舞台としたさまざまな体験活動**を鳥羽高校の生徒に企画してもらいました。

マウンテンライフ飛騨職場体験



馬瀬のマウンテンライフ飛騨に長期滞在している外国人の方々と、「森のニンジャ(本格的なアスレチック)」のスタッフとして職場体験を行いました。外国人スタッフと一緒に働くことで、**学校では体験できない活きた異文化交流**ができました！